とうきょう　すくわくプログラム活動報告書

園名	草花保育園
活動日時	10月2日、8日
クラス名（年齢）	ひよこ組（0歳児）
年間テーマ	自然

1、活動テーマ

＜テーマ＞

光を見つける

＜テーマの設定理由（子どもの姿）＞

部屋の窓側の床に当たった陽の光を見つけた保育者の様子を見て、気づいた子どもが指を差して驚いたり、興味を示した姿から設定する。

2、活動スケジュール

部屋には窓が多く、陽の光がよく入る環境で、光を感じやすいので、光が入り込んだ際に、子どもと一緒に光を見つけ楽しむ。

3、環境をデザインする（活動のために準備した素材や道具、環境設定）

陽の光が床にはっきりと当たり、見やすい時に行う。太陽の動きで数分後には消えてしまうので、その瞬間を子どもと楽しめるようにする。

4、探究活動の実践

＜活動内容＞

遊びの中で、太陽の光が柵やブラインド越しに床や壁などに当たる様子を子どもと見つけて楽しむ。

＜活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり＞

子どもの言葉・姿	写真
みんなで室内遊びをしていると、光の近くで遊んでいた子どもが、急に「あ！」と指さして発見する。 気づかず歩き回る子どももいる。 数日経って、また別のところで虹色の光が差し込んでいるのを見つけ、子どもに教えてみると、すぐに気がついて、自分でも触ってみようとする。 触ってみても感触がないが、面白かったようで、笑い声をあげて喜んだり、また見に行ったりしていた。近くにいる子どもも気づいて一緒に触ってみようとする。 「キラキラ」「あったね」と言葉をかけると「た！」と嬉しそうに言葉で言おうとしていた。	

5、振り返り（振り返りによって得た保育者の気づき）

光を気にすることは今までなかったのだが、気づいて面白がっている子どもの姿を見て、成長を感じた。楽しんでいる子どもの様子から、光を見つけた時は、一緒に見つけられるように言葉をかけるようにしてみると、子どもも見つけて楽しむことができ、その経験を通して、後日、自分で光を見つけることができるなど、数人の子どもと一緒に見て楽しむことができた。